

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	常磐大学人間科学部
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 5 名 (うち認定心理士 1 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会は、欺瞞・隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心がある研究者が、研究集会にて研究発表、議論を行うことを目的とし、2011年9月に発足した。本年度の研究会は、代表者に加え、佐藤拓氏 (新潟リハビリテーション大学)、菊地史倫氏 ((公財)鉄道総合技術研究所) の3名を企画者として、2012年2月11日に文京学院大学本郷キャンパスにて開催した。発表者は村井潤一郎氏 (文京学院大学) であり、タイトルと概要は以下の通りであった。社会、認知、発達、臨床、生理など、心理学の多岐の分野にわたる研究者が参加し、欺瞞・隠蔽について活発なディスカッションを行うことができた。</p> <p>(日本心理学会ホームページに掲載された情報から抜粋) タイトル: 欺瞞の心理学 概要: 欺瞞的コミュニケーション研究会の立ち上げに際し、欺瞞という現象についていくつかの角度からお話し、この現象の興味深さをお伝えしたいと思っております。主に社会心理学的な諸研究を紹介することになりますが、欺瞞は心理学の多くの分野に関係しますので、他分野の方々と興味・関心を共有できる内容にいたします。本発表、そして本研究会の活動を通して、我が国における欺瞞研究の活性化につながればと願っております。</p> <p>なお、研究会に先立ち、研究会の企画者3名で今後の研究会活動に関するミーティングを行った。以下の3点について協議の上、確認、決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度の日本心理学会にて企画するワークショップの登壇者について決定した。 ・本研究会を日本心理学会でのワークショップと併せ、年2回以上開催することを決定した。また、積極的に広報活動を行い、多岐の分野の参加者を募ることも確認した。 ・今後、参加者で共同研究のプロジェクトを立ち上げる方向を模索することを確認した。 		